

# 7月のほけんだより

令和3年7月1日発行  
あいせん保育園

日に日に日ざしが強くなり、心弾む夏がやってきました。新型コロナウイルスは依然として収束が見通せない状況ですが、ワクチン接種は各地で進んでいるようです。今年もマスクが必要な夏・熱中症にも注意して過ごしていきたいと思えます。



## 6月の健康情報



乳児クラスで下痢が数名見られましたが、大きな流行にはなりません。夏の感染症が流行りだす時期です。また虫刺されの園児も増えてきています。掻き壊してとびひなどにならないよう、注意しましょう。

## 皮膚のトラブル

### ～とびひ～

とびひは虫刺されやすり傷などに細菌が感染し起こる病気です。赤いただれや水ぶくれができ、痒みでかきむしって汁が附着し次々と広がります。

くもし、とびひになってしまったら・・・

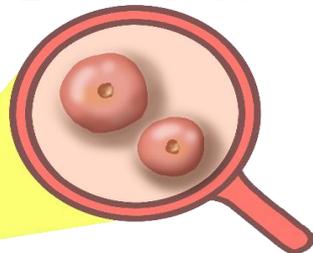
- ・早目の受診、抗生剤の飲み薬はきちんと飲み切る
- ・お風呂は湯舟には入らずシャワーだけに
- ・患部は泡立てた石けんで優しく洗う
- ・清潔にしてから薬を塗りガーゼで保護する

(絆創膏はダメ)



### ～水いぼ～

水いぼは1年程で自然治癒するといわれており、自然治癒を待つか積極的な治療を行うかは意見が分かれる所です。まれに全身に広がって悪化したり、他の子にうつしてしまふ事もあるので、受診して医師に相談しましょう。



- ☑ 丸い形
- ☑ 1～10mmの大きさ
- ☑ 中央に少しくぼみ
- ☑ つやつやしている
- ☑ 触るとやわらかい

### おねがい

虫よけリング(プレス)やシールタイプの虫よけは剥がれたり外れたりし、子どもが口に入れたりするおそれがあるため園内でのご使用はご遠慮ください。園内で使用があった場合は安全管理のため取り外しますのでご了承下さい。



## 夏にはやる病気



### ●ヘルパンギーナ

2～4日の潜伏期の後、突然39℃前後の高い熱が出ます。喉の水ぶくれができ痛むためミルクや食事が摂れなくなったりします。熱がなく普段通りの食事ができれば登園可です。登園許可証は必要ありません。



### ●アデノウイルス感染症

#### はやい目・プール熱(咽頭結膜熱)など

はやい目は充血や目やに、瞼の腫れ、涙、痛みなどの結膜炎の症状が見られます。プール熱は結膜炎の症状に加えて、発熱やのどの痛みが見られるのが特徴です。感染力が強く、罹ってしまった場合、登園許可証明書が必要です。



### ●手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発疹や水疱ができ、熱がでます。重症例では、お尻や膝の裏など全身に水疱がでます。数週間後に爪が剥がれることも・・・。登園許可証は必要ありません。



## マスクと熱中症

高温・多湿でのマスク着用は、熱中症のリスクが高まります。暑さを避け水分を摂るなどの基本的な熱中症予防対策はもちろんのこと、日頃から体調管理を心掛けることも重要です。毎朝体温測定と健康チェックをし、体調が悪い時は無理せず自宅で静養するなど熱中症に備えましょう。屋外で人と十分な距離が確保できる場合にはマスクをはずすようにしましょう。

